



1



2



3

1_菅江トンネル構造について学ぶ(山東小) 2_ICT学習の一環としてロボットの操作を体験(春照小) 3_三島池での写生大会(大東中)

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクール

問 市教委 学校教育課(山東庁舎) ☎ 55-8109 FAX 55-4040



学校と地域が協力し合って学校の運営に取り組む「コミュニティ・スクール」制度。市では平成30年度から一部の学校で始め、今年度には市内全ての小中学校で導入しました。子どもたちの学習、成長を見守り、支えるのは、家庭、学校、そして地域のみなさんです。未来を担う子どもたちのために。今回は3校の取り組みを紹介します。



◀手作りのエプロンシアターや歌で絵本の世界へ
▼広場ではじっくり読書タイム

子どもたちが本に親しみつきかけを生み出したります。子どもたちが本に親しみつきかけを感じ入れる子どもたちの姿が見られました。

当日はスタッフを含め約90人が参加し、会場となった伊吹薬草の里文化センターの芝生広場には、雨上がりの空の下、読書を楽しむ親子の姿が。また屋内では地域の人によるエプロンシア

ターや紙芝居の読み聞かせに集中して聞き入る子どもたちの姿が見られました。

「コミュニティ・スクールを導入して2年目の春照小学校。前年に引き続き、「読書に親しむ文化の醸成」を目標の一時に掲げ、11月にこもれび読書会を開催しました。

当校は、この取り組みは、

春照小学校

創造と実践を繰り返し、
これからの時代を
生き抜く力に

※学校運営協議会
保護者や地域住民等で
構成される委員が学校
運営について協議する
場として、「ミニコ(ティ)
スクール導入校で設置
されている。

「プログラミング教育が必修化され、ICTの活用が叫ばれるいま、子どもたちがパソコンの基本操作に慣れ、先生方にとっても安心して授業を進められるよう応援できたら」と久郷さんは話します。

また、月に1回、休みの日に自由参加制の「ICT T A M(イクタム)」と名付けた事業に取り組んでいます。「ICT機器を活用し、(A)遊びながら(M)学ぶ」ことを目的に行われるこの取り組みは、久郷朋之さん(写真左)をはじめ、地域の人が講師となり、子どもたちがパソコンで音楽やゲームを作ったり、ロボットを動かしたりと思い思いに楽しめる時間です。



山東小学校

地域の軌跡をたどり、
愛する地域の姿を
次の世代へ

の「生の言葉」
で語られる話
は、子どもた
ちにとつて何
よりも貴重な
教材になつて
います。



10周年記念で山東小の軌跡を
伝える瀬戸川さん▶
▼校舎建築の様子を伝える掲示
物(3年生児童作成)



ここで講師を務めるのは、高森慶司さん。約130年前、このトンネルの建設を各方面に呼び掛け、完成に導いた高森慶多郎さん(ひ孫)にあたります。当時の人たちの生活を体験しようと実際に山道を歩いてトンネルの向こうの鳥羽上(長浜市)へ。慶司さんからはトンネル建設の反対意見を受けながらも諦めず地域のために取り組んだ慶多郎さんの熱意が伝えられました。

「地域への恩返しになればー」慶司さんは、そんな思いでこの学習を10年にわたり支援しています。

長年この地で生きてきた地元の人

山東小学校もコミュニティ・スクールを導入して2年目。今年度は、山東西小学校と山東東小学校が統合し、10年となる節目の年です。10月に開催した記念イベントでは70年以上この地域で暮らす瀬戸川恒雄さんから西小と東それぞれの前身となる小学校の歴史までさかのぼり、貴重な写真や映像とともに学校の歩みが伝えられました。

また別の日には、4年生の菅江トンネル築造の歴史学習が行われました。

ここで講師を務めるのは、高森慶司さん。約130年前、このトンネルの建設を各方面に呼び掛け、完成に導いた高森慶多郎さん(ひ孫)にあたります。

当時の人たちの生活を体験しようと実際に山道を歩いてトンネルの向こうの鳥羽上(長浜市)へ。慶司さんからはトンネル建設の反対意見を受けながらも諦めず地域のために取り組んだ慶多郎さんの熱意が伝えられました。

「地域への恩返しになればー」慶司さんは、そんな思いでこの学習を10年にわたり支援しています。

長年この地で生きてきた地元の人

大東中学校

地域の宝を見つめ直し、
通いたい、通わせたい、
関わりたい学校へ



長年、社会科教員として教育に携わっていた箕浦さんから「こんな見方はどう?」と例題やクイズが出されます。生徒たちは真剣に考え、箕浦さんの話を聞き入っていました。

生徒たちは、さわやかな秋晴れの下、時折、地域の方との会話を楽しみながら、筆を進めていました。12月には大東中の卒業生でもある箕浦政直さんが講師となり3年生への人権学習が行われました。自身の学校時代のエピソードも交えながら、生徒たちに伝えるのは「固定観念や偏見にとらわれない、人を大切にする見方」です。これから時代を生きる後輩への期待とエールを込めた言葉は生徒たちの心に響いたことと思います。



オレンジに色づき始めた紅葉や
ゆつたり泳ぐカモの様子を楽しみ
ながらのスケッチです

今年度からコミュニティ・スクールを導入した大東中学校。「『支える』というより『学校のために何か出来たら』という気持ちで、地域や保護者のみなさん気が軽く学校に関われる、そんな身近な学校を目指しています」と一ノ宮校長先生。

今年度の一大イベントは11月に開催した1年生の三島池写生大会です。学校のすぐ側にある三島池は地元のみなさんが誇る大切な地域の宝の一つです。

生徒たちは、さわやかな秋晴れの下、時折、地域の方との会話を楽しみながら、筆を進めていました。12月には大東中の卒業生でもある箕浦政直さんが講師となり3年生への人権学習が行われました。自身の学校時代のエピソードも交えながら、生徒たちに伝えるのは「固定観念や偏見にとらわれない、人を大切にする見方」です。これから時代を生きる後輩への期待とエールを込めた言葉は生徒たちの心に響いたことと思います。

今年度からコミュニティ・スクールを導入した大東中学校。

「『支える』というより『学校のため

に何か出来たら』という気持ちで、地

域や保護者のみなさん気が軽く学校

に関われる、そんな身近な学校を目指

しています」と一ノ宮校長先生。

今年度の一大イベントは11月に開

催した1年生の三島池写生大会で

す。学校のすぐ側にある三島池は地元

のみなさんが誇る大切な地域の宝の

一つです。

生徒たちは、さわやかな秋晴れの

下、時折、地域の方との会話を楽し

みながら、筆を進めていました。

12月には大東中の卒業生でもある

箕浦政直さんが講師となり3年生へ

の「人権学習」が行われました。自身の

学校時代のエピソードも交えながら、

生徒たちに伝えるのは「固定観念や偏

見にとらわれない、人を大切にする見

方」です。これから時代を生きる後

輩への期待とエールを込めた言葉は生

徒たちの心に響いたことと思います。